



安芸太田町教育21もみじプラン教育目標 「地球・世界的規模の視野を持ち、世界や地域社会に貢献する人づくりをめざす」										
ミッション 地域社会に貢献できる生徒の育成					ビジョン 主体的で協調的な学びの推進					
学校教育目標 学びを生き方につなぐ教育の創造					学校研究主題 深い学びを引き起こす授業づくり					
めざす生徒像 挑戦 感動 感謝の心をはぐくむ生徒					～「知識構成型ジグソー法」を取り入れた単元開発と評価を通して～					
中期経営目標	短期経営目標	評価項目及び評価方法			評価基準	担当 中務 分掌	中間 評価	最終 評価	達成状況及び改善策(かつこの数値は前期)	評価委員の意見(中間)
学力の向上	学習意欲の向上と自主学習の充実	基礎的・基本的な知識・技能の定着	・生徒質問紙「なぜ学ぶのか自ら考える」の肯定的回答85%以上 ・自主学習60分以上の生徒85%以上			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	教務 研究部	A	生徒質問紙「なぜ学ぶのか自ら考える」の肯定的回答率は72.1%であった。また、自主学習を60分以上取り組んでいる生徒は84.4%で、自主学習が提出できていない生徒が固定化してきている。	ノートや掲示物を見ると丁寧に書かれており、頭の中で整理されているのだということが伺える。小学校からの自主学習ノートの取り組みが中学校になって、さらにバージョンアップされている生徒も数人見られた。一人一人の生徒の課題克服に向かって指導を強化していただきたい。
	協同学習の実践	深い学びを引き起こす授業の実践	・生徒質問紙「友だちの考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることで、学習内容の理解が深まる」の肯定的回答100% ・各種学力調査で、すべての教科の平均正答率等が全国平均を上回っている。			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下			生徒質問紙「友だちの考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりすることで、学習内容の理解が深まる」の肯定的回答率は100%であった。	10月に3年生の総合的な学習の時間の発表を参観することができた。今まで培ってきた基礎的な知識を発表(途中経過)という場を設定することで、相手を意識したプレゼンの内容や方法などを話し合いながら体験できたのではないかと思う。
社会に貢献する力の育成	自らの成長が実感できる	進路指導の充実及び進路実現に向かう意欲・態度の向上	・生徒質問紙「将来どんな大人になりたいか考え、そのために取り組んでいる」の肯定的回答率100%			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	進路 連携部	A	生徒質問紙「将来どんな大人になりたいか考え、そのために取り組んでいる」の肯定的回答率は90.6%であった。	行動目標を自分でたくさん見つけられること自体が、既により良い生き方をしようとする姿勢だと思う。具体的な目標が掲げられない生徒には、これからしっかりと支援をしていけばよい。
	実践意欲の育成	自己肯定感の向上	・成功体験と自信(i-check)の肯定的回答率85%以上			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下			「自己を認識する力、自分の人生を選択する力、表現する力」を育む取り組みを継続するとともに、社会と学校や日常生活とのつながりを意識させる。(ステップアップシートの活用、自己表現朝会の充実、キャリア教育の視点を取り入れた授業改善や特別活動の充実)	生徒は、早い時期から目標に向かって努力する大切さを身に付けていると感じた。これは、「継続する力」「実現する原動力」になる。
地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	地域貢献活動への参加	成果指標 ・社会参画(i-check)の肯定的回答率85%以上 ・地域貢献活動後の生徒の感想(肯定的記述)			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	生徒 安全部	A	成功体験と自信(i-check)の肯定的回答率は83.3%であった。(1年生:81.9%,2年生:82.7%,3年生:85.7%) 「自分には、いいところがあると思いますか。」の肯定的回答率が、他の質問と比較して低いという課題が見られた。(1年生:72.2%,2年生:69.2%,3年生:71.4%)	文化祭では1年生も生き生きと活動していた。また、英語の授業では、ALTの発音に物おじせずに、にこやかに受け答えをしている姿を見て、楽しく学校生活を送っていることが伺えた。一方、自己存在感を見いだせない生徒もいるのではないかと感じた。しっかり受け止めてあげられる環境(人・もの・こと)も必要だと思う。
	地域貢献の意欲と態度の育成	地域貢献活動への参加	・成功体験と自信(i-check)の肯定的回答率85%以上			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下			生徒質問紙の肯定的回答率が低い生徒と学力テストの点数が低い生徒との間に強い相関関係が見られた。このことから、学習面でのつまずきが自己肯定感の低さにつながっていると考えられる。このことから、教育相談などを通して肯定的な評価を行いつつ、個別の学習支援を行い、自己肯定感を向上させていきたい。	Youtubeなどインターネット上には具体的な成功体験動画がアップされている。そういったものを活用しながら、自信につなげる指導ができることよい。
信頼される学校をつくる	学校の公開性の向上	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	・保護者の学校満足度…90%以上 ・教職員との「生徒と向き合う時間が確保できていると感じる」に対する肯定的回答率90%以上			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下	総務 部	A	保護者の学校満足度は90.3%、教職員の「生徒と向き合う時間が確保できていると感じる」に対する肯定的回答は81.8%であった。コロナ禍のため、保護者とのつながりを十分に持てない時期が続く、学校での生徒の様子や取組が十分に伝わっていない面があった。	生徒の元気な姿、楽しく活動している姿を見るのは嬉しい。まず、教職員が元気で創造的な仕事ができるよう応援している。
信頼される学校をつくる	学校の公開性の向上	保護者・地域への教育公開及び情報発信の充実	・保護者の学校満足度…90%以上 ・教職員との「生徒と向き合う時間が確保できていると感じる」に対する肯定的回答率90%以上			A:80%以上 B:60～80% C:60%以下			コロナ禍では、学校を訪問することに躊躇するので、学校通信は学校の様子をしる大きな情報源になっている。内容も要点が網羅されていると感じる。	豊かな自然環境の中で、生徒一人一人の個性を大切にしていることが、授業での生徒の様子や教職員一人一人の言葉から感じとることができる。今後ますますオンラインなども活用した新しい取組に期待する。